

## 桃山学院高等学校『学校評価』概略

2013年10月24日

桃山学院中学校高等学校

校長 温井史朗

### はじめに 学校評価に関するアンケート

桃山学院中学校高等学校では各種アンケートを下記のように実施してきました。

- ①PTAに対して・・・2012年12月
- ②教員に対して・・・2013年3月
- ③生徒に対して・・・2012年5月 「生活と意識調査」
- ④生徒に対して・・・2012年7月 「授業アンケート」

### 1. 教育活動に関して

- ①桃山学院はキリスト教精神に基づく教育を推進している。朝礼時のお祈りやクリスマス礼拝などを通じて宗教的情操を育成するとともに「御心にかなう社会の実現に奉仕する若者」を育成する中等教育機関としての役割を果たす努力をしている。

- ② 2012年度の主な活動を以下に記している。

- ・校務分掌の変更を行った。従来は『入試統括室』のみであった「室」を『情報処理室』『いのちの教育室』『危機管理室』と増やした。

情報処理室・・・定期考査やコンピュータ関係にことなどを扱う部署である。

危機管理室・・・災害対応や不審者侵入対応といったことを中心に恒常的に会議を開いて生徒の命を最優先に考えていくために作られた部署である。危機管理室中心に「桃山学院中学校高等学校 いのちをたいせつにするマニュアル」（いわゆる危機管理マニュアル）の作成に着手した。2013年7月にすべての保護者に配布した。

いのちの教育室・・・保健指導委員会や宗教教育委員会や人権カウンセリング委員会そしてボランティア担当やSBS担当を概括する組織として設置した。委員会と担当のみで行ってきた取り組みを全体としてみていくことを主眼に据えている。

「ボランティア」の活動の一環として、8月19日から22日まで東北の南三陸に高校生34名教職員9名で「瓦礫撤去」のボランティア活動を行ってきた。その様子を10分間のビデオにして中学1年生から高校3年生までの全生徒・教職員・PTA総会・同窓会などの場で観てもらった。東北ボランティアを契機として「生徒のボランティアサークル」がたちあがった。

「響プロジェクト」について。9年前にスポーツテスト中に生徒がなくなるという悲しい出来事があったが、そのことを覚えておくためにさまざまな活動が行われた。

2012年度に「響プロジェクト」を立ち上げた。昨年秋に「助産師さんのお話」冬には「救命士のお話」そして今年に入り、5月25日の土曜の午後に、映画「うまれる」の上映会をPTA・地域の方々に観ていただいた。

- ③ 2008年度に開設された中学校が一貫コースとして高校3年生になった。
- ④ 2007年度に始まった「自習ステージ」は毎年改善をおこなってきており、学力の付いた生徒には自習ステージの出席については「自由度」を与えている。自分で学習していく習慣をみにつけていくことが本当の学力につながるということを生徒には伝えている。「自由度」の基準は「定期考査で1科目でも欠点をとっている生徒」「全国規模の模試で一定の偏差値に満たない生徒」を原則としている。
- ⑤ 「Rゼミ」は定期考査で欠点をとった生徒に対して実施している「補習」であるがクラブ活動や自習ステージよりも優先されて生徒たちは基礎学力の定着にとりくんでいる。
- ⑥ 「M1ゼミ」は学外からの講師に依頼して行っている希望者対象の大学入試を意識した講習である。もちろん本校の教員による講習もある。外部の予備校や塾に通う生徒の数は以前と比べて減っている。
- ⑦ 健康に関するアンケートが保健室によってなされており、担任はその報告を受けて生徒の状況把握に努めている。
- ⑧ 2012年12月 PTA学級委員総会において保護者による学校評価アンケートを実施した。

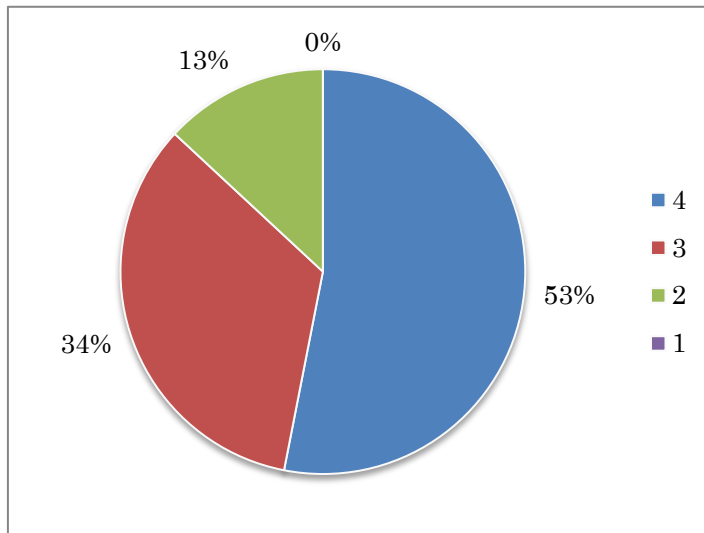
2. PTA学級委員総会において保護者による学校評価アンケート2012年12月

★高校★

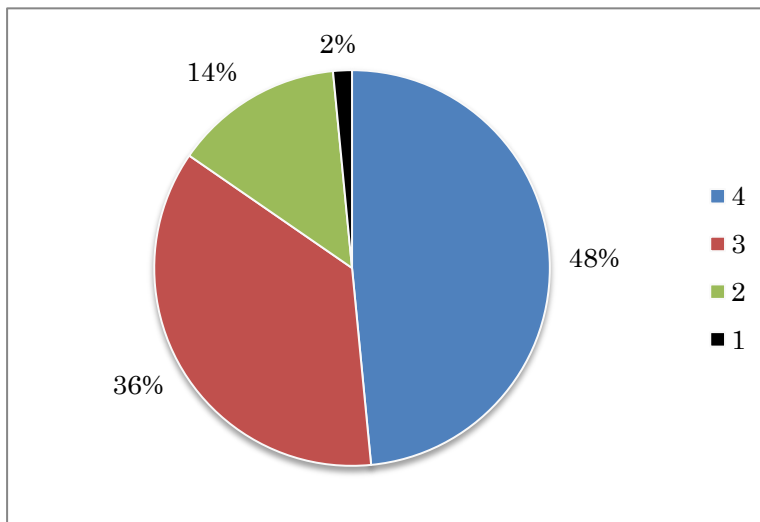
①教育活動に関するもの（抜粋）

1	2	3	4	5
まったくあてはまらない	あまりあてはまらない	ややあてはまる	よくあてはまる	未記入

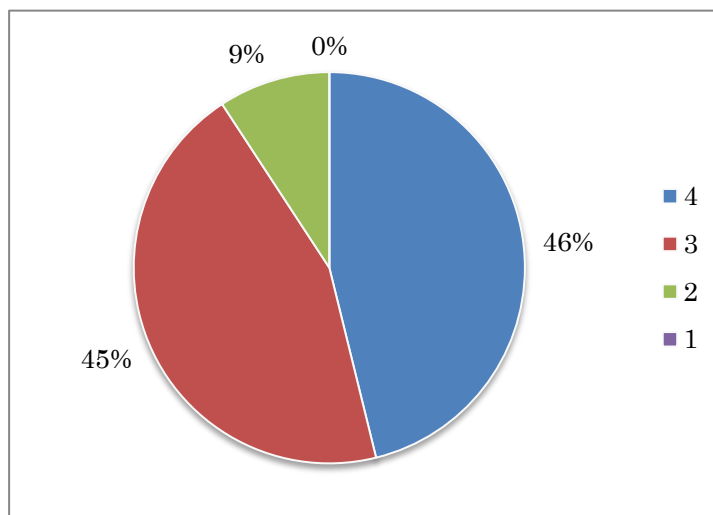
- 1. 子どもは学校に行くのを楽しみにしている。



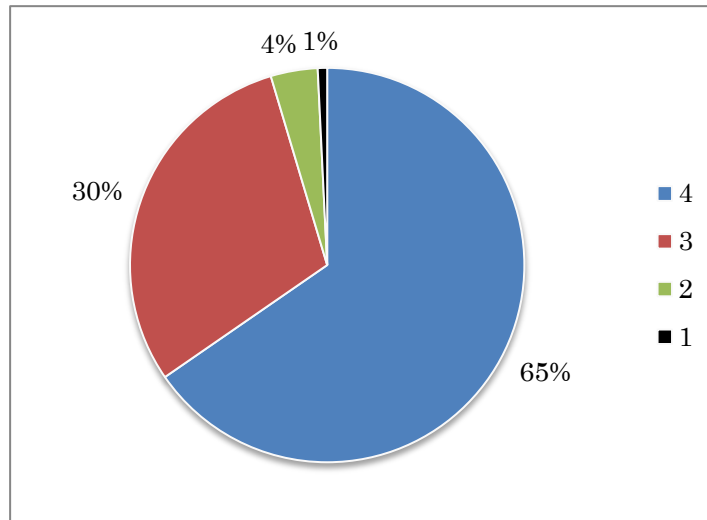
2. 子どもは自分の学級が楽しいと言っている



3. 学校の雰囲気がよく子どもたちは、生き生きしている。



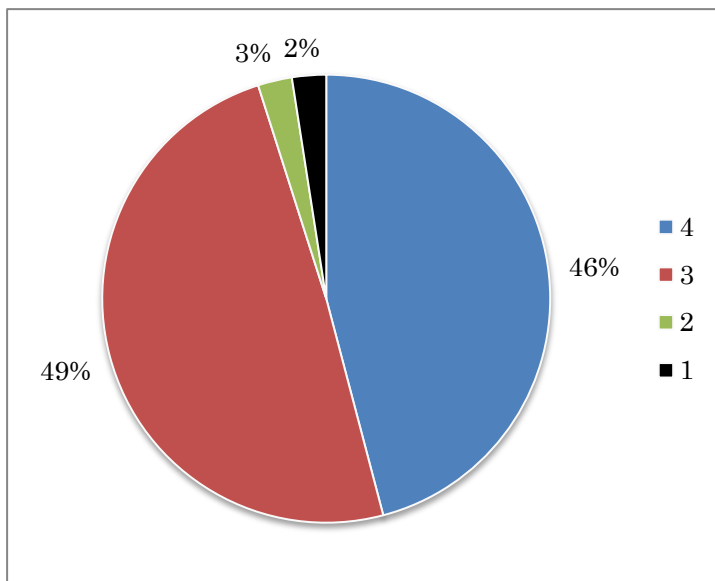
19. 子どもは学校に友達がいると知っている。



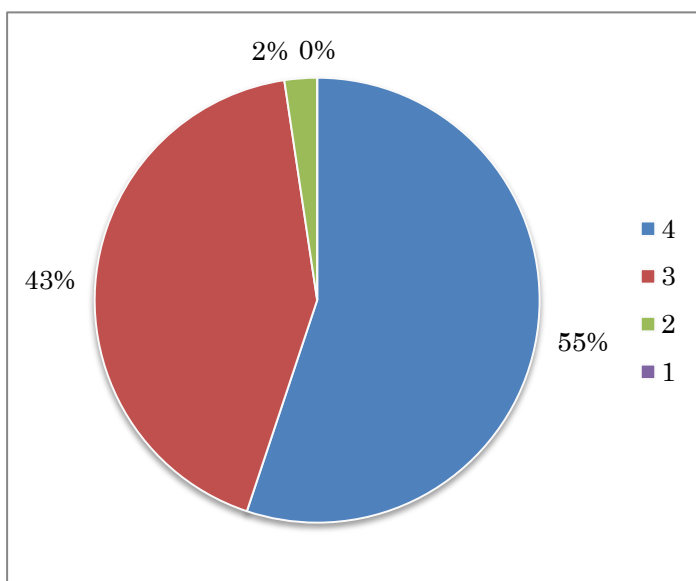
②学校経営に関するもの

1	2	3	4	5
まったくあてはまらない	あまりあてはまらない	ややあてはまる	よくあてはまる	未記入

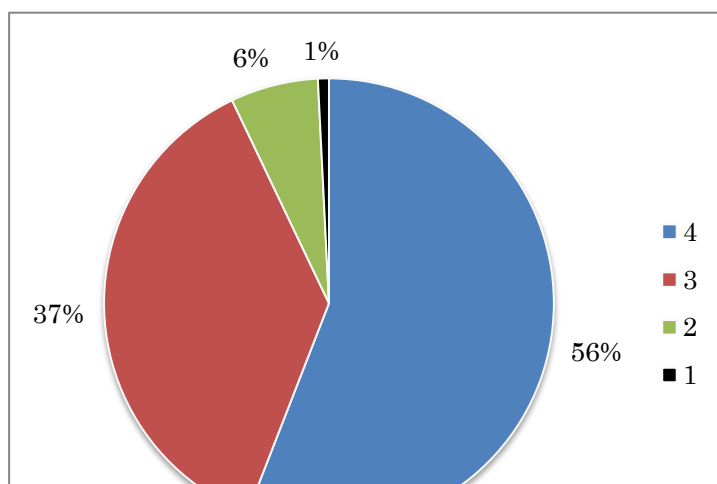
2 1 . 学校運営は正しくなされている。



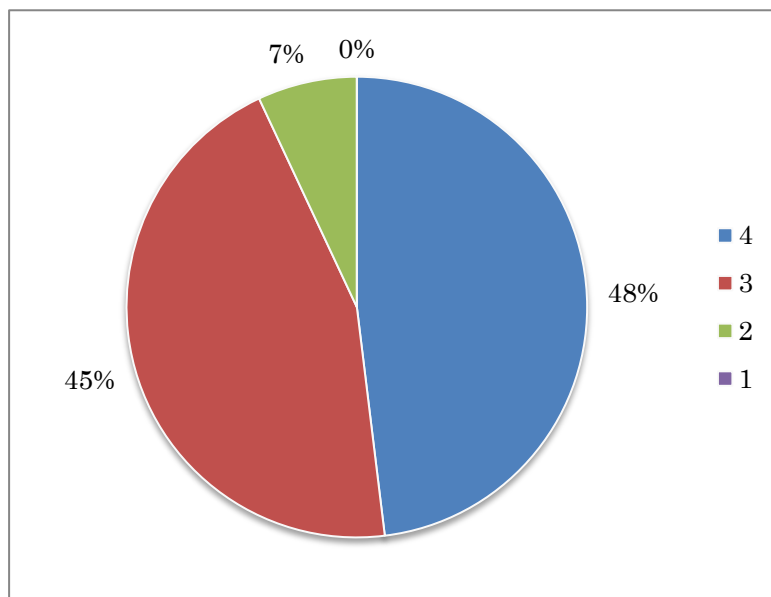
2 2 . 地震や台風などの対応については適切になされている。



2 3 . 学校の施設や設備は学習環境面でほぼ満足できる。



29. PTA活動は参加しやすい。



3. 学校評価票 (高校教員用)

2012年度学校評価票(高校教員用)			
4: はい。3: どちらかと言えば、はい。2: どちらかと言えば、いいえ。1: いいえ。			
1	教育方針を実施して教育目標を達成するために、具体的な教育計画が作成されていますか。	4 - 35%	3 - 53%
		2 - 12%	1 - 0%
2	教育目標を達成するために、本校の教育方針や学校運営に関し、全職員の共通理解が図られていますか。	4 - 21%	3 - 44%
		2 - 26%	1 - 9%
3	職員会議や校内各組織で提案された具体的目標や運営方針に基づいて、日常の教育活動を実施し、目標達成のための工夫・改善が図られていますか。	4 - 29%	3 - 53%
		2 - 18%	1 - 0%
4	教育目標の達成に向けた教育活動が具体的に進められ、成果が上がっていますか。	4 - 12%	3 - 53%
		2 - 32%	1 - 3%
5	教育課程の実施に当たっては、生徒の実態を十分踏まえ、教育目標の達成を目指したもとなっていましたか。	4 - 44%	3 - 35%
		2 - 21%	1 - 0%
6	教育課程の実施に当たっては、校内各組織の役割分担と連携が明確であり、それぞれの組織の考えが十分反映されるよう配慮されていますか。	4 - 21%	3 - 50%
		2 - 24%	1 - 6%
7	教育課程を円滑に実施するための工夫・改善が、毎日の教育活動の中で図られていますか。	4 - 21%	3 - 65%
		2 - 12%	1 - 3%
8	教育目標の趣旨に沿った教育課程を実施した結果、生徒一人ひとりの目標が達成されるなど、成果が上がっていますか。	4 - 15%	3 - 65%
		2 - 18%	1 - 3%
9	各教科・科目の年間指導計画は、学校や生徒の実態を考慮して作成されていますか。	4 - 41%	3 - 41%
		2 - 18%	1 - 0%
10	各教科・科目の学習活動が円滑に進められるように、教科会議、各部会、担任会、コース会議、委員会が互いに協力し合うなど、指導体制が確立されていますか。	4 - 29%	3 - 59%
		2 - 12%	1 - 0%
11	学習内容を確実に身に付けることができるよう、授業内容に工夫・改善がなされていますか。	4 - 47%	3 - 47%
		2 - 6%	1 - 0%
12	指導の過程や成果を評価することによって、学習指導の改善を図り、生徒の学習意欲を向上させる努力をしていますか。	4 - 44%	3 - 44%
		2 - 9%	1 - 3%
13	教育目標に基づいた生徒指導や進路指導の年間計画が作成され、その全体構造と重点が明確にされていますか。	4 - 39%	3 - 42%
		2 - 12%	1 - 6%
14	学校の実態に即して生徒指導や進路指導が組織され、教育目標を達成するための役割分担と連携が明確にされていますか。	4 - 41%	3 - 38%
		2 - 18%	1 - 3%
15	生徒達に学則を守らせるため、教師集団の一員として、校則違反の生徒達に厳正に対応していますか。	4 - 41%	3 - 44%
		2 - 12%	1 - 3%
16	教師と生徒が信頼関係で結ばれ、教育目標の達成に向けて互いに生き生きと活動していますか。	4 - 44%	3 - 44%
		2 - 12%	1 - 0%
17	生徒の実態や発達段階を的確に把握し、教育目標の達成に向けてのホームルーム計画が適切に設定されていますか。	4 - 21%	3 - 36%
		2 - 33%	1 - 9%
18	クラス運営に当たっては、生徒ひとりひとりの個性を把握し、その可能性を伸ばすための個人指導が適切になされていますか。	4 - 30%	3 - 55%
		2 - 12%	1 - 3%
19	クラス運営にわたっては、クラス全体の特徴を理解し、各クラスの問題点に応じての集団指導が適切になされていますか。	4 - 33%	3 - 61%
		2 - 6%	1 - 0%
20	クラス運営を充実したものとするため、また担任生徒や保護者からの信頼を得るため、教師としての研鑽に励んでいますか。	4 - 48%	3 - 39%
		2 - 12%	1 - 0%

#### 4. 学校評価に関して

桃山学院中学校高等学校は桃山学院例規集に掲載されている「学校点検評価規定」並びに「同外部評価委員会規定」に則り学校評価及び学校関係者評価を実施している。

2012年度の当評価は2013年10月22日に桃山学院評議委員会の場でも説明し、評議委員の皆様からの意見を伺った。

また2013年度末までには本学院監査室から、2012年度の学校評価が適正に行われているか、細部においての監査を受ける予定となっている。尚、2013年度の評価については既に2013年1学期末に全生徒対象に「授業アンケート」と「生活と意識調査」を実施した。